

豊田自動織機グループの 持続的な価値創造の歩み

当社は、基本理念に基づき、創業以来90年にわたって培ってきた技術やノウハウを活かし、真に必要とされる商品やサービスを世の中にご提供してきました。
今後も、世界の人々の豊かな生活、温かい社会づくりに一層貢献することで、事業の持続的な成長をめざしていきます。

基本理念

- 【公明正大】 内外の法およびその精神を遵守し、公正で透明な企業活動を実践する
- 【社会貢献】 各国、各地域の文化や慣習を尊重し、経済・社会の発展に貢献する
- 【環境保全 品質第一】 企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組むとともに、クリーンで安全な優れた品質の商品を提供する
- 【顧客優先 技術革新】 時流に先んずる研究と新たな価値の創造に努め、お客様に満足していただける商品・サービスを提供する
- 【全員参加】 労使相互信頼・自己責任を基本に、一人ひとりの個性と能力を伸ばし、全体の総合力が発揮できる活力ある企業風土をつくる



当社では、社祖・豊田佐吉の精神を
まとめた豊田綱領を社是とし、
これをもとに基本理念を定めました。

1926~ 【創業期】

多くの研究と試験を経て豊田佐吉が発明・完成させたG型自動織機を生産するため、1926年に(株)豊田自動織機製作所(現(株)豊田自動織機)が設立されました。その後「研究と創造」の精神を受け継ぎ、国産紡績機械と国産自動車の開発・生産に取り組み始めました。

1953~ 【事業の多角化と規模拡大】

1953年には、エンジンの生産および自動車組立を開始、1956年にはフォークリフトの生産を開始するなど、事業の多角化に着手しました。さらにカーエアコン用コンプレッサーの生産を1960年に開始。その後も研究開発を進め新規事業を育成し、将来の発展への礎を築きました。



1988~

【グローバル企業へ】

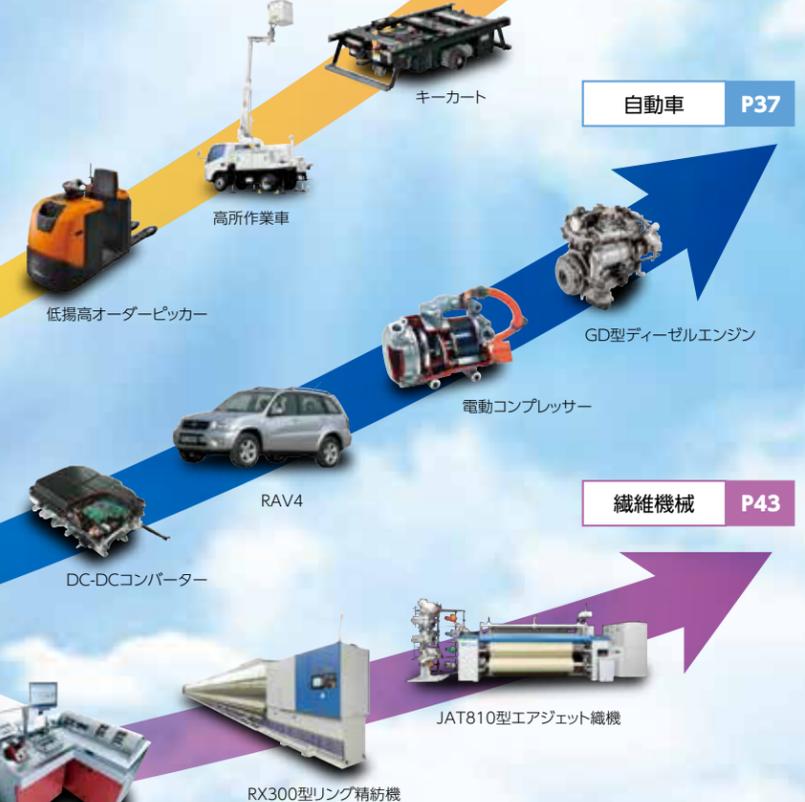
北米でフォークリフト需要が拡大するなか、貿易摩擦や為替による影響などを考慮し、1988年に米国インディアナ州にフォークリフトの生産会社を設立しました。その後カーエアコン用コンプレッサー、鋳造部品、繊維機械の各事業においても海外生産に着手し、当社はグローバル企業へと飛躍していきました。



2000~

【戦略的M&Aも活用した事業強化】

当社のコア事業に成長した産業車両を中心に、戦略的M&Aも活用したバリューチェーンの拡大や海外展開を進めることで、事業のさらなる強化をはかっています。



当社のCSR活動



【主なCSR活動】

- ・「品質第一」に徹し、お客様ニーズの変化・多様性に迅速に対応できるモノづくりを徹底(お客様との関わり)
- ・開かれた調達や、取引先様(サプライヤー)との相互信頼に基づく共存・共栄の実現(取引先様との関わり)
- ・適時・適切な情報開示と、株主・投資家の皆様との良好なコミュニケーションの構築(株主・投資家の皆様との関わり)
- ・一人ひとりが多様な能力を発揮し、いきいきと働くことができる安全・安心な職場づくり(従業員との関わり)
- ・「良き企業市民」としての役割を果たし、積極的な社会貢献活動を実施(地域社会との関わり)

継続的に実施

産業車両 P32

自動車 P37

繊維機械 P43